

「フィリピンに本をおくる会」通信 <No.2> 2016年6月

発行所：『フィリピンに本をおくる会』事務局（代表：金子多美江）

〒338-0012 さいたま市中央区大戸4-8-13 ☎048-831-7538

~~~~~おかげさまで1年！ますます発展する図書館のご報告！~~~~~

発足して1年、「フィリピンに本をおくる会」は、皆様の温かいご援助で無事目標を達成することが出来、ここに感謝をするとともに、活動・成果をご報告いたします。

この1年間に寄付・購入された本は950冊ほど、そのうち翻訳を加えて405冊を3回に分け、12箱を送付、本の周りに詰めた皆様から送っていただいた生活用品は、現地で販売し図書館運営費になりました。現地のスタッフは、1年間無給で頑張って開館を続け、入館者は13,000人に及び、図書館はますます愛され、必要とされる存在となっています。紙芝居は今年も入賞、これで連続9回の快挙を果たし、また学校のない地区の人々の要望に応えた第3図書館の建設は、子どもたちにとって心躍る出来事でした。

これらはみな、皆様のご支援あってのこと、心から感謝いたします。今年度もどうぞ頑張っている子供たちにお力をお寄せくださいますよう、心からお願ひ申し上げます。

**** 大活躍の1年 日本でも大きな支援 ****

* 翻訳・・・1ヶ月2日の大偉業！

活動の基本である翻訳にあたってくださったのは、フィリピン出身のミレナ・ドミンゴ先生。1ヶ月に2日金子宅に缶詰めで翻訳作業、その数なんと11ヶ月に110冊！おかげで長い物語、専門用語のある本や科学的な本も送れるようになり、現地に新しい知識の風を与えてくださいました！



* 編み物サークル「あむあむ」・・・毎月1回

会の趣旨に賛同した編み物大好き人の集まり。素晴らしい作品を見せ合ってワイワイガヤガヤ相互評価で大賑わい、ぐんぐん腕を上げ、それをフリーマーケットなどで販売、会に大きな資金を提供してくれます。良質、安価なので、既にリピーター続出。



* 本づくり (8・9・1・2月) 東京芸術劇場会議室で

翻訳文を絵本に切り貼りし、レイアウトする作業。毎回10～15人の参加で、メンバーの教え子やその娘さんにも及び、年代をこえて和気あいあいと賑やかに作業、早くも紙芝居専門作成者も。家に持ち帰ってくださる方もいて、たちまち1回100冊ほど完成。



* 「あむあむ」展示即売会・・・11月、1月に

11月、Oさんがご近所で見つけたカフェに交渉して、1月はKさんが友人のカフェに交渉して、「あむあむ」製品の展示即売会を。お二人とも運搬・展示・準備とまとめて取り組んでくださって。来館者はコーヒーを楽しみながら、会の活動を聞いて感動、子どもたちのためにと、買い上げてくれました。

♥ できた!! 第3(ラトン)図書館!! 小さくても大きな希望 ♥

～子どもたち・母親から喜びの手紙たくさん～



*私はとても嬉しいです。沢山本がほしいです。

（ジラルド 4年）

*日本の皆様、ラトンの図書館ありがとうございます。

学校はまだ閉まっていますが、ここでは本をたくさん読みます。

(シンネル 4年)

*日本の本は大好きです。いろいろなデザインがあり、きらきら輝いているので楽しく読んでいます。（ロナ 2年）

*本も辞書も紙芝居も大好き。私たち本が読めて幸せです。

(アイコ 6年)

*図書館作ってくれてありがとうございます。子どもたちは今まで遊ぶだけでしたが、これからは読むことが出来て嬉しいです。

(デルクルス 母)

♥ 日本の皆さんへ ~~~~~♥

あんまり小さな図書館なのでびっくりしましたか？

でも、土地の交渉・設計・材料の購入と、全部自分たちの力で取り組んできた自慢の図書館。これから床張り、本だな、窓枠つくりにとりかかります。でも子どもたちは大喜びで、山を登ってきては読み聞かせの会です。大工さんはブロックやセメントを川や山を越えて運ぶのに、とても苦労していました。ありがとう！！

今年も力いっぱい ～～ SPMスタッフの誓い

リサ

1年間は収入がなく、私たちはとても苦しい生活でしたが、心はとても満足。今年は第3図書館もでき忙しくなりますが、子どもたちのためにしっかり働きます。

ジャニス

生活が苦しくてよそに働きに行って乗り越えてきました。子どもたちは図書館が大好き、早く鍵あけてと朝から呼びに来るので、今年はもっと開館します。

～～今年も入賞、9回連続入賞！！～～

「辞書」「僕だって勉強したい！」の2編の内、後者がジュニアの部に100余点の中から入賞。昨年11月28日、横浜青少年センターで表彰式、ミレナ先生が実演。失明した少年が自立へ向け努力をしていく物語で、深い感動を与え大拍手でした。今年度も挑戦するそうです。



アナリン

手芸の指導もして駆け回った1年でしたが、子どもが図書館にたくさん来てくれると、疲れも忘れます。私は新図書館の担当、少し遠いけれど、頑張ります！！

オモン

日本からの支援が終わった時のため、これからのことを考えています。井戸や建物の修理、親のいない子たちの援助、たくさん問題に取り組んでいきます。



～～ マニラ会談 ～～

去る4月19日から20日、SPのスタッフと金子夫妻がマニラで落ち合い、ミレナ先生の通訳で、この1年間の反省とこれからの相談をしました。1年ぶりの涙の再会でしたが、活動の細かい点を話し合うことが出来、明るい展望が湧きました。